

管理事業名	歴史文化まちづくりセンター事業			総合計画の体系	第4章 第4節	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 多彩な文化が交流するまちづくり		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 25	歴史文化まちづくりセンター費	
部局名	都市魅力部	予算執行所属		文化スポーツ推進室				
予算大事業名	歴史文化まちづくりセンター事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
<p>事業の目的と概要</p> <p>吹田歴史文化まちづくりセンターは、吹田の歴史と文化のまちづくりにかかわる市民相互の交流と連携の促進を図り、地域に息づく歴史、文化を保存し発展させることにより、まちに個性と魅力及び潤いをもたらし、地域社会の発展に寄与することを目的に設置しています。地域の市民や団体への貸館事業及び文化教養講座や季節行事、伝統芸能行事等の事業を実施します。</p>								

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
貸館利用者・見学者・事業参加者数	人	24,242	24,856	25,882	貸館利用者数、施設見学者数、事業参加者数の合計
成果の説明	指定管理者による効果的な管理運営が行われており、開館以来、利用者・見学者・事業参加者を合わせて、毎年20,000人以上の利用があります。貸館利用が様々な目的で行われ、平成28年度は前年より利用者数が増加しています。また、ボランティアの育成と活用を行っており、地域コミュニティの活性化と魅力あるまちづくりに寄与しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	822	931	1,005	75
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	92	101	256	155
経常収入 小計(a)	913	1,032	1,261	230
給与関係費	5,089	5,226	4,343	△883
物件費	22,133	21,936	23,757	1,821
維持補修費	571	1,278	1,170	△108
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	2,983	2,977	2,973	△4
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	11,639	11,639	11,639	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	414	425	371	△54
退職手当引当金繰入額	308	328	△415	△743
支払利息	231	170	108	△123
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	43,369	43,977	43,945	△32
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△42,455	△42,946	△42,684	262
特別収入	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別支出	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△42,455	△42,946	△42,684	262
一般財源充当額	41,137	41,744	42,331	588
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△1,318	△1,202	△353	849

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	吹田市歴史文化まちづくりセンター指定管理に係る施設管理委託料22,785千円 平成28年度から指定管理の範囲を変更し、光熱水費など需用費の一部を施設管理委託料に組み入れた。
維持補修費	毎年傷みの進んでいる箇所から修繕している。 平成28年度は施設外側の板塀を修繕。
負担金・補助金・交付金等	指定管理者による自主事業に対する補助金2,973千円
経常収入 その他	電話加入権過年度遡及登録に伴う過年度損益修正益 151千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	913	1,032	1,110	78
行政サービス活動支出	31,902	32,566	33,170	604
行政サービス活動収支差額	△30,989	△31,534	△32,060	△526
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	10,149	10,210	10,271	61
財務活動収支差額	△10,149	△10,210	△10,271	△61
収支差額 合計	△41,137	△41,744	△42,331	△588
一般財源充当額	41,137	41,744	42,331	588
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動支出)歴史文化まちづくりセンター指定管理に係る施設管理委託料22,785千円ほか (財務活動支出)地方債償還払い10,271千円
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
施設利用者一人あたりコスト	平成26年度	24,242人	1,789円	歴史文化まちづくりセンター利用者一人あたり1,698円のコストがかかっています。利用人数が増加したため、一人あたりのコストは減少しています。
	平成27年度	24,856人	1,769円	
	平成28年度	25,882人	1,698円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	10,696	10,704	7
未収金	-	-	-	地方債	10,271	10,333	62
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	425	371	△54
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	788,385	776,746	△11,639	固定負債	15,335	4,193	△11,142
有形固定資産	788,385	776,746	△11,639	地方債	10,333	-	△10,333
土地	673,923	673,923	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	114,462	102,823	△11,639	退職手当引当金	5,003	4,193	△809
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	151	151	負債の部合計	26,032	14,897	△11,135
インフラ資産	-	-	-	純資産	762,353	762,000	△353
有形固定資産	-	-	-				
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	788,385	776,897	△11,487	純資産の部合計	762,353	762,000	△353
				負債及び純資産の部合計	788,385	776,897	△11,487

Ⅲ 財務構造分析

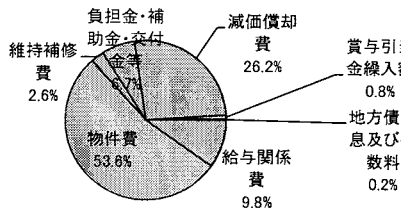
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
事業従事人数	0.6 人	人	日	人	4,298
給与関係費等	4,298 千円	千円	千円	千円	4,298
内、時間外勤務手当	60 千円				

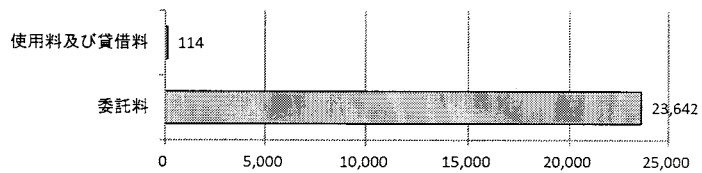
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	歴史文化まちづくりセンター(建物)減価償却により11,639千円の減
地方債	償還払いにより10,271千円の減
無形固定資産	電話加入権

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田歴史文化まちづくりセンター
取得年月日	平成15年(2003年)6月(供用開始)
建物・工作物の取得価額	264,550 千円
建物・工作物の減価償却累計額	161,727 千円
利用料金収入	1,005 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		0.2	0.5	0.4	△0.1
施設老朽化比率		52.3	56.7	61.1	4.4
受益者負担比率		1.9	2.1	2.3	0.2
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		97.8	97.6	97.4	△0.2
経常費用対公共資産比率		16.4	16.6	16.6	0.0

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

物件費がコスト全体の53.6%を占め、そのうち施設管理に係る委託料が95.9%を占めています。また、減価償却費がコスト全体の26.2%を占めています。経常費用のうち51.4%は吹田歴史文化まちづくりセンター指定管理委託料です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

施設老朽化比率は61.1%となっており、元々が古民家を改修して供用された施設であるため、施設維持補修費の増大が今後も予測されます。また、労働者の最低賃金価格が上昇してきており、その動きに合わせて、人件費の積算を見直していく必要も生じてくるため、指定管理委託料の増加も見込まれます。しかしながら、本市の歴史と文化のまちづくりに対する施設の果たす役割は大きく、今後も継続可能な事業のあり方を検討しながら、指定管理者と一層の連携に努め、事業を展開してまいります。